

知事コメント

令和3年2月19日(金)

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、沖縄県独自の緊急事態宣言を発出してちょうど1ヶ月となります。この間、多くの県民並びに事業者の皆さまにご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。

1ヶ月前と比べると、療養者数は745人から305人に、病床占有率は88.2%から61.8%に、直近1週間の新規感染者数は607人から104人に減るなど、感染状況には改善が見られます。

緊急事態宣言の取扱いについて検討を進めておりますが、このまま感染状況が収束に向かうのか、慎重に見極めたいと考えております。ちなみに、県内の非コロナ病床の占有率は94.8%となっております。

また、来月からは県内でワクチン接種がスタートしますが、医療従事者を確保し、接種を円滑に進めるためには、しっかりと流行が抑えられているということが重要です。

これから卒業式や謝恩会、歓送迎会、あるいは卒業旅行など、多くの人と人が移動し、接触する機会が増えるシーズンを迎えるため、決して安心できる状況にはありません。

昨年3月には、このシーズンに感染拡大を経験し、いわゆる第1波の流行へと突入しました。

しっかりと感染拡大を押さえ込むためにも、引き続き油断せず、おじいちゃん・おばあちゃんなど高齢者と会うときにはマスク着用を忘れず、会食・会合は同居家族等のいつも一緒にいる人に限定するなど、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、県では、流行の再拡大を早期に覚知し、未然に防ぐため、PCR検査の拡充に力を注いでおります。

2月3日から運用している那覇空港における検査体制「NAPP(Naha Airport PCRtest Project)」については、既に1,224人の方が検査を受け、1人の陽性者を確認し、療養に繋げることができました。

また、介護・医療従事者向けのPCR検査事業についても、2月10日

から始まっています。既に3,743人の方に対して検査を実施し、1人の陽性者を確認し、隔離するとともに、早期にクラスター対策に取り組んでいるところです。

さらに、PCR検査を希望する方が、誰でも、安価に、迅速に検査が受けられる環境を整備するため、民間の検査機関が実施するPCR検査1件につき、最大8千円の補助を行います。

現在、支援を受ける検査機関を募集しているところであり、来週中を目途に各検査機関における安価なPCR検査の開始を目指しております。費用、申込み方法などについては、決まり次第発表いたします。

これらの対策により、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するための検査体制の強化を図ってまいります。

最近では、身近な場所で検査キットが販売されるなど、民間の検査機関により、自費でPCR検査が受けられる事業が展開されており、広く希望者が検査を受検できるようになっております。

ただし、検査結果のみを伝える検査もあり、その場合は医療機関などで再度の受診や検査が必要になる場合もあると考えられます。

陽性の時には、入院や療養に繋げることが、感染拡大の防止のために必要なことです。

県民の皆さまには、検査の内容をよくご確認の上、検査受検を判断していただきますよう、お願いします。

県民生活や県経済の回復を図るためにも、感染をしっかりと抑え込むことが重要です。

先ほども申し上げたところですが、現在の流行状況は、改善に向かっているものと考えられますが、今、気を緩めると再び感染拡大に転じる可能性もあります。

明日からは飛び石連休や、今月末には十六日祭などがあり、感染リスクが高まる場面が想定されます。

長期にわたるコロナ対策も、ワクチン接種という新たな段階に入ります。県民の皆さまにおかれましては、引き続き時短要請や外出自粛などについても、ご協力を賜りますよう、心からよろしく申し上げます。